



入社年数や経験に関係なくフラットに話ができる雰囲気。「ベテランの公認会計士や税理士にも気がねなく相談できることは、経験の浅い私にとってありがたいことです」と石井さん

日々の仕事は、顧客を訪問し、毎月の売上や経費などをチェックする月次監査。また、一般的には年1回行う決算を、1か月単位で行う月次決算も主要な業務だ。営業成績や財政状態といった経営に役立つ情報を月単位でスピーディに提供し、会社経営の軌道修正などに対し「経営者が正しく意思決定できるように」との思いで、わかりやすい説明・アドバイスを力を入れている。

事務所にするという夢を実現するため、父は勤勉に働き、家でもいろいろと勉強をされていました。そして忙しいなかでも、私や妹をよく遊びに連れて行ってくれたんです。子ども心にそのバイタリティーはすごいと思っていましたし、尊敬もしています。そう話す石井さんの将来の目標は、「石井会計」を引き継ぎ、「父の夢」を実現すること。そのため今は、「経験を重ね、会計事務所の職員として備えているべき知識を身につけて、社内でも認められる存在になることが目標です」と、明るい表情で話してくれた。



① 一日のスケジュール

- 8:30 出社
その日の業務内容の確認、掃除。朝礼では経営計画書をみんなで見せ共有
- 9:00 顧客を訪問
月次監査のために、売上や経費のほか、現金や預金の動きもチェック
- 12:00 昼食・休憩
午前と午後で異なる顧客を訪問するときは、移動途中で外食
- 13:00 顧客を訪問
月次決算などの報告。規模の大きな会社の場合は、先輩と一緒に訪問することも
- 18:30 退社
16時帰社。顧客からの質問対応、翌日の業務の確認、日報提出などを行う

「人生の大先輩からの感謝の言葉がやりがいです。」

税務会計、経営コンサルティング、相続・事業承継、会計監査、M&Aアドバイザーといったさまざまなサービスで、地域の中小企業を会計・経営面からサポートし、地域社会の発展に貢献する「石井経営グループ」。その原点は、1991年に設立された「石井栄一税理士・公認会計士事務所」。当初はわずか2名でのスタートだったが、30年を経た現在は、グループの40名のスタッフが500社を超える顧客をサポートするまでに成長している。

その税務会計部門を担う「税理士法人石井会計」に、2020

中小企業をサポートし、地域社会の発展に貢献。



幅広い業務にチャレンジ

税務以外に、医薬サポート、相続・事業承継コンサル、M&Aと業務は多岐にわたる。ひととおり税務業務を覚えたあとは、幅広い業務にチャレンジすることが可能だ

石井さんが思う会社のいいところ



石井壮一さん Profile

2020年入社。税理士の資格取得を目指して勉強中。コロナ禍以前は中学・高校時代からの友人と出かけることも少なくなかったが、どちらかというとインドア派。現在は、自宅で映画鑑賞や読書を楽しむことが多い。

1年間の目標を全社員で共有

年初の経営計画発表会で、今期の目標を全社員で確認。月初の全体会議では、目標に対する現状や最新の税務情報などを共有。一丸となって目標達成を目指している



開けたオフィスで相談しやすい環境

ワンフロアの開けたオフィスなので、部をまたいでの相談もしやすい雰囲気。仲間と切磋琢磨して成長できる。資格取得に向けたサポート体制も用意されている



いしいけい い 石井経営グループ

税理士法人石井会計・株式会社石井経営
株式会社岡山M&Aセンター・石井公認会計士事務所
岡山市北区今8-11-10
TEL.086-201-1211
https://www.ishii-cpa.com/



Pickup! イベントも多彩



忘年会やボーリング大会をはじめとする各種懇親会、社員旅行、創立記念パーティーなど、さまざまなイベントはいつも和気あいあいとした雰囲気。経験の長さや入社年度の垣根を越えて、思いきり楽しむことのできる社風も魅力のひとつとなっている。

年に入社した石井壮一さんは、こう話す。「お客さまのほとんどは、業種も規模もさまざまな中小企業。ベストなサポートを行うためには、数字を精査するだけでなく、1社1社への理解を深めることが重要です」。そのため、会社のなりたちや歴史などについてもより深い話を聞けるよう、密なコミュニケーションを心がけている。

「あるとき、M&Aに関連する質問を受けました。すぐに調べて返答すると、「なるほどよかった、ありがとう」と……。経営者であるお客さまは、私の倍ほどの年長者です。そのような人生の大先輩から感謝の言葉をいただく、達成感とともにやりがいを感じます」。

